

男子決勝は2連覇を狙う福島東稜と初優勝を狙う福島南の対戦となった。

第1ピリオド、両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。序盤、福島東稜は#4安藤が内外問わず次々とシュートを沈めてリードを得る。硬さが見られる福島南もタイムアウト明け、ディフェンスのプレッシャーを強めて反撃を開始する。スティールからの速攻、3Pシュートが決まり、23-19と福島南が逆転して第1ピリオド終了。

第2ピリオド、福島南はディフェンスのプレッシャーをさらに強めてボールを奪うと、#9木口がドライブや3Pシュートなど次々と加点し、一気にリードを広げていく。対する福島東稜は福島南の堅い守りの前に、中盤約7分間ノーゴールとなり完全に停滞。ゾーンディフェンスでリズムを変えようとするが、直後に#13ウスマンが4つ目のファウルを吹かれるなど悪い流れが続く。48-32と福島南がリードを広げて第2ピリオド終了。

第3ピリオド、点差を詰めていきたい福島東稜だが、なかなかシュートが決まらず苦しい展開が続く。一方、福島南はディフェンスからよく走り、速攻を連発して楽々と加点していく。福島東稜はタイムアウトを取るも流れは変わらず、69-37と福島南がリードして第3ピリオド終了。

第4ピリオド、福島東稜はオールコートでディフェンスを仕掛けてボールを奪うも、肝心のシュートが決まらない。福島南は落ち着きを取り戻し、冷静にゲームをコントロールする。終盤には3年生をコートに送り出す余裕を見せ、88-58で福島南が嬉しい初優勝を飾った。